

気管挿管マスターしたけりゃ 麻酔科へ！



- あなたはコード・ブルーに対応する自信がありますか。何科の医師になっても、気管挿管のスキルは必ず役に立ちます。麻酔科で研修して、**気道確保や全身管理がデキルドクター**になりましょう。
- 医師免許があれば“麻酔科以外の”全ての診療科を標榜できます。つまり麻酔科標榜医は唯一の**国家認定資格**なのです（医療法第70条）。本学麻酔科で発行している研修修了証をGETして、ワンランク上の標榜医を目指しましょう！



麻酔科研修で身につく

10の到達目標

2ヶ月コース

3ヶ月コース

6ヶ月コース

- ☑ 心電図・血圧計・パルスオキシメータなどの全身管理に必要な基本モニターを装着でき、データが正しく評価できる。
- ☑ Bag & Maskによる人工呼吸が適切に施行できる。
- ☑ マッキントッシュ型喉頭鏡を用いた気管挿管が正しい手順で施行できる。
- ☑ Difficult Airwayを評価し、その対処方法を理解する。
- ☑ 全身麻酔からの覚醒状態を正しく評価し、適切に気管チューブが抜管できる。
- ☑ 人工呼吸器の機能を理解し、基本的なモードの設定ができる。
- ☑ 基本的な循環作動薬の薬理を知り、適切に投与できる。
- ☑ 周術期に用いる輸液・輸血製剤を理解し、適切な輸液・輸血管理ができる。
- ☑ 中心静脈ラインの適応を知り、適切な方法で中心静脈穿刺ができる。
- ☑ 硬膜外ブロック・神経ブロックの適応と禁忌を理解し、正しく施行できる。